



薬剤師の

YAKUNI  
TATSU  
OHANASHI  
VOL.71

Vol.71

上田薬剤師会 発

# ちょっと楽に立つお話

地域の皆さんのがんのためにはさまざまな活動をしている  
上田薬剤師会から、  
健やかな毎日をつくるために  
ちょっと役立つお話を  
お届けしていきます。  
毎月「第2土曜日」の  
週刊うえだを、どうぞお楽しみに!

特集

痛い!  
かゆい!

気になる季節です!!

## 虫刺されと虫除け

### “虫刺され・かゆみ止め”

蚊、ハチ、ブヨ、ダニ、ケムシなどの昆虫に皮膚を刺された際、毒性のある物質が体の中に入ることで、痛み、かゆみ、腫れなどの症状が起こります。

かゆいからといって、患部をかいてしまうと細菌に感染することもあるので気をつけましょう。かゆみや痛みを引き起こす虫に刺されたときは、すぐに薬を使用しましょう。虫刺されの薬には、さまざまな成分が含有されています。状況や症状・患部によって使い分けましょう。

#### 抗ヒスタミン成分

アレルギーによるかゆみを抑えます。蚊、ブヨ、アリなどに刺され、かゆみだけがある場合に。

(例)ジフェニヒドラミン塩酸塩、クロルフェニラミンマレイン酸塩等

#### 鎮痒成分(かゆみ止め)

かゆみを抑えます。(例)クロタミン等

#### 局所麻酔成分

知覚神経に作用して、患部のかゆみを抑えます。(例)ジブカイン塩酸塩、リドカイン等

#### 殺菌成分

皮膚のかき壊しによる細菌の増殖を抑えます。(例)イソプロピルメチルフェノール、クロルヘキシジン塩酸塩等

#### 副腎皮質ステロイド成分

かゆみに加え、痛み、腫れなどの炎症を抑えます。ケムシ、ムカデなどによる、赤く腫れてぶり返すかゆみに。

(例)プレドニゾロン酢酸エステル、プレドニゾロン吉草酸エステル酢酸エステル、デキサメタゾン酢酸エステル、ヒドロコルチゾン酢酸エステル等

※腫れや痛みがひかない、膿が出た、発熱などの場合は、医療機関を受診しましょう。

#### 抗炎症成分

かゆみの原因となる炎症を抑えます。

(例)サリチル酸メチル、グリチルレチ酸等

#### 清涼化成分

スッとした冷感がかゆみを抑えます。

(例)メントール等

### “虫除け”

刺されて不快な思いをする前に、虫除けを使う方法もあります。虫が嫌がる成分を塗布したりスプレーすることで、その周辺に虫が寄りにくくなります。おなじみ蚊取り線香は「除虫菊」という植物が由来です。

最近の虫除け剤でもっともよく使われる的是「ディート」。殺虫効果はありませんが、蚊やダニといった吸血虫が嫌う成分です。肌に直接つけるので、汗や摩擦で効果が薄れないようにするには、こまめに塗り直すのがおすすめ。ただし、赤ちゃんには使用できないものがあるので注意が必要です。

スプレー型や塗るタイプ、また匂いなどさまざまな種類のものが販売されているので、用途に応じて使用しましょう。詳しくは、かかりつけ薬剤師・薬局にご相談ください。



お盆、夜間、休日…お薬のことで困ったときは…

まずは、ご自分の**「かかりつけ薬剤師・薬局」**へ連絡しましょう!



休日に連絡がつかない場合は…? お近くの**「休日当番薬局」**へ!

上田市・東御市・小県郡を4つのブロックに分け、1ブロックにつき1薬局、上田薬剤師会の会員薬局が当番制で対応します。午前9:00から午後7:00まで開局しています。休日当番薬局は「週刊うえだ」内に掲載されているほか、上田薬剤師会のホームページでもご確認いただけます。

<http://www.uedayaku.org/>



夜間に連絡がつかない場合は…? **「夜間当番薬局」**へ!

**☎ 0268-21-0660**  
(午後7時~翌朝7時)

夜間の急な対応も、上田薬剤師会の会員薬局が当番制で担当しています。夜間当番薬局は処方せんの調剤をするだけでなく、患者さんの行きやすい調剤可能な薬局を探したり、薬に関する電話相談を受けたりしています。どこの薬局が夜間当番かは防犯上の理由により原則非公開です。



**おしゃらせ** 「非薬剤師による準備行為」研修会の開催について  
  
先日の厚生労働省からの通知により、調剤薬局での業務について、一部、薬剤師でない人が行うことが可能となりました。業務を実際に行うためには所定の研修を受け、認定を受ける必要があります。当会では全国に先駆けて、研修会を開催することになりました。詳細は上田薬剤師会のホームページをご覧ください。  
  
開催日時：8月25日(日)  
募集人数：40名 ※定員になり次第締切  
  
はい、お答えします！は、  
今回おやすみです。

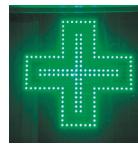


梅雨が明け、外に出る機会が増えると、蚊やアブ、スズメバチ、ヘビなど、毒性のある生き物との遭遇も多くなる季節です。虫やヘビなどに咬まれた時の対処と、寄せつけない方法について、薬剤師の岩淵仁信さんにお話を聞きました。

### “ハチに刺されたら”

ハチに1度刺されると人間の体内には抗体ができ、抗原抗体反応によって2度目に刺された時には「アナフィラキシーショック」が起こり、命に関わる危険性があります。刺された部位以外の発赤、めまい、吐き気、血圧低下、呼吸困難といった症状が出ます。スズメバチに限らず、ハチに刺されたらすぐに医療機関を受診してください。

アナフィラキシーショックは、人によって必ず起こるというわけではありませんが、1回刺された人は危険性が高まります。また、1度でもショックを起こしたことがある人は特に注意。もし刺された場合もすぐに人を呼ぶことができるよう、常に準備をしておきましょう。



詳しくは、  
かかりつけ薬剤師・  
薬局にご相談ください!



▲上田薬剤師会  
「認定基準薬局」の目印、グリーンクロス看板

### “ヘビに咬されたら”

山や川など自然の多いところに出かけると、ヘビに咬まれる可能性も高くなります。マムシやヤマカガシなど毒があるヘビだと、咬まれた瞬間にしびれと激しい痛みを感じ、腫れています。

毒が体内に回るのに30分～3時間程度はかかりますので、咬まれても慌てずに、まずは患部をきれいに洗いましょう。毒を口で吸い出すなどという民間療法は、誤って体内に入れてしまう危険性があるのでお勧めしません。なるべく毒が体内に回らないよう静かにして、早めに医療機関を受診してください。



おしゃらせ

「非薬剤師による準備行為」  
研修会の開催について

先日の厚生労働省からの通知により、調剤薬局での業務について、一部、薬剤師でない人が行うことが可能となりました。業務を実際に行うためには所定の研修を受け、認定を受ける必要があります。当会では全国に先駆けて、研修会を開催することになりました。詳細は上田薬剤師会のホームページをご覧ください。

開催日時：8月25日(日)

募集人数：40名 ※定員になり次第締切

